

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



照雲分教会

昭和2年5月	集談所新築
昭和2年12月15日	照雲宣教所設立
昭和4年3月5日	鎮座祭
昭和15年10月27日	移転

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。
つなげよう、信仰の喜びを。

立教187年
4月号

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



鼓笛合同練習会 開催

少年会

笠岡団笠岡むつみ鼓笛隊は、3月24日に、大教会で、鼓笛合同練習会を開催しました。

コロナの影響から活動を停止している隊もありますが、この日は、本隊・福山隊・高屋隊から合計54人の参加者がありました。

又、育成係としては、昔から笠岡むつみを支え続けてきた方々も終日参加してください、賑やかに有意義な合同練習会を開催する事が出来ました！



夏に向けたテーマソングの練習



お楽しみ行事の様子



振付けをしっかりと確認

練習曲は昨年同様、今年のテーマソング「ありがとう、夏のおどば」、又

初級の子たちは「みずすまし」を習い、その練習した曲を、4月1日のおつとめまなび総会でお供え演奏として披露してもらいました。

今年には鼓笛活動70周年の節目にあたり、本部でも記念の集いなどが開かれます。

「笠岡むつみ鼓笛隊」は、本部が鼓笛活動を打ち出した時から活動している歴史ある隊です。

これからもこの歴史を更に新しく刻んでいける様に進めていきたいと思っています。

(団長 森本忠善)



お供演奏リハーサル



直属アワーで盛りあがる

3月28日、「春の学生おどばがえり」が実施され、笠岡学生会からは、学生22人が参加した。

前日の27日は、班のメンバーとの交流を深めるグループタイムが中心となった。また、夕つとめ後には、東西泉水プール前広場で、前夜祭『春Fes』が開催され、ステージやゲームコーナーは、盛り上りを見せていた。

翌、28日の式典では、真柱様よりメッセージを頂き、学生たちは、真剣に

春の学生おどばがえりに 学生22名が参加

学生会・学担



快晴の下、式典へ



笠岡学生会、最高です！



鼓笛お供演奏



青年会ダンスチーム「0J1小町」



模擬店は賑わいを見せた

耳を傾けていた。その後実施された『直属アワー』では、同じ笠岡に繋がる学生が集まり、室内オリピックなどを通して絆を深めた。

この2日間、学生たちは、教えに触れると共に、お道の仲間と心の交流を図り、有意義な春のひとときを過ごした。(学担委員長 上原 繁次)

おつとめまなび後、総会式典では、育成会長様は、おつとめの大切さ、人のたすかりを願うおつとめをこれからもつとつとめてほしいとご挨拶を終えられました。そして、全員により「少年会の誓い」を力強く唱和した後、各

業生としてこれからは、少年会を導いていってほしい。そして、17歳になったら別席を運んで、おさづけを取り次げるよふぼくになってほしいと、お祝の言葉を贈られました。

おつとめまなび総会 開催 少年会

少年会笠岡団(森本忠善団長)は4月1日に本年度のおつとめまなび総会を開催しました。心配していました天候も好天のご守護を頂く中、少年会員154

育成会長様(大教会長様)の御臨席を頂いて、午前10時より座りつとめ・よろづよ八首、四下り目まで鳴り物を入れて参加者全員でつとめさせて頂きました。

続いて「わかぎ門出式」が行われ、今春、中学を卒業した10人の少年会員に記念品を贈呈、団長より少年会の卒

最後に鼓笛隊のお供え演奏が行われ、隊員達が一生懸命に演奏演技する姿に感動を与えて頂き、会場からの大きな拍手が贈られました。昼食は、各ブロックより準備していた、ただいた模擬店で射的・スーパードールを楽しみながら、おいしくいただきました。



練習の成果を神様にご覧頂いた

ステージでは、青年会の『OJI小町(オジコマチ)』がダンスをしながら、会場を盛り上げて下さり、笠岡の新しいアイドルが誕生しました。続いて、少年会委員の紹介があり、その中で団長と藤井保人副団長による体を張ってのコーラ・ボトル一気飲みをしていただき、会場のみなさんを楽



総立ちまなびでつとめた

しませて下さいました。最後に待ちに待った恒例の抽選会が行われ、楽しいひとときを過ごしながら大いに盛り上がり喜びの中におつとめまなび総会を無事終えさせて頂く事ができました。今日の日を迎えるに当たり、それぞれの教会では、おつとめ練習又、模擬



衣類・食器・子供ふろしき市が行われた講堂

**大盛況だった
第5回目の桜祭り支援バザー
会長室**

第5回目の桜祭り支援バザーが多くの方々のお力添えを頂き、晴天と満開の桜のご守護の中、4月7日に大教会

店等おつとめまなび総会開催に当たりお世話取り下さいました方々、お忙しい中ひのきしんして下さいました方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。
(副団長 浅野明 教)



賑やかだった模擬店・バザー会場

中庭で開催することが出来ました。今年は例年通りのアフリカ孤児支援に加え、能登半島支援を目的に開催されました。5回目を迎えたこのバザーは、今回約400人の方がこの教会に足を運んでくださいました。協力してくださいました人には感謝しかありません。開催するにはとても大きな力がいられます。本当に開催するための準備が出来るのだろうか、スタッフは揃うのだろうか、人は当日来てくださるのだろうか、桜は？ 天気は？ 開催するには心配事も頭をよぎりますが、回を重ねていくと多くの支援活動に賛同してくだ



模擬店風景

さる方々が増えてくるのを心強く感じます。
1つは近隣のお店を経営する人たちにポスターのお願いをすると、快く受けてくださり大きなポスターを貼ってくれました。2つ目は近所の人たちが天理教さんは本当にいいことをしているねえ、私達はしたいと思ってもどう活動していいのかわからない、すばらしいと思うと何人もの人たちが言ってくたさる。3つ目は当日何かさせて頂きましょうと



毎年大人気の花の苗の販売

協力してくださるスタッフの方々、和太鼓チーム、マジック、アートバルーンと会場を賑やかにしてくださいる人たちが居てくれること。また部内の教会の人たちが、笠岡大教会で唯一外に向かつて活動している行事だからこれは続けた方がいいよ、と言ってくださいる。そういった言葉が心の支えとなつて単純な私達はまた来年への活力を生み出そうとしています。
このバザーが関わってくださいる方々の喜びの元となり、神様にお勇み頂く行事となることを念じ、これからも続けていきたいと思ひます。この度の収益金は目的通りアフリカ孤児支援並びに能登半島支援に使わせて頂きます。
(会長室員 上原 志郎)

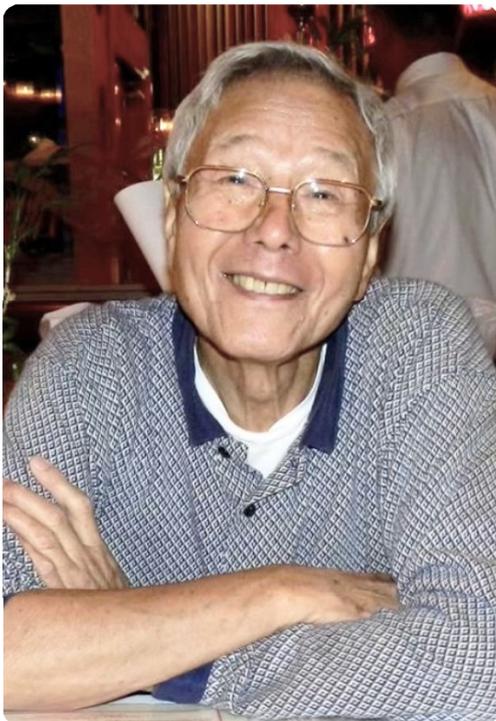
末の弟のまなざし

去る1月10日、大教会承事・上原眞雄先生(三代会長様8男)が出直され、翌月末の「連絡事項」で三代会長夫人・上原くにゑ様の30年祭の日取が発表されたみぎり、かさおか編集掛では、上原繁道先生(同9男・末弟、前史料部長)に、おぼろげな追憶を頼りに筆に任せて兄御たちのご事歴を認めていただき、「三代会長様時代に笠岡の目指したもの」を回顧することをもちて『温故知新』の続編とする。

▼眞雄兄の出直を悼んで

思い出すままに

田頭の教会、会長宅、13段の階段を上がった処で眞雄兄と2人で泣いていた。眞雄兄と祥雄兄が喧嘩で殴り合いになり、やめてよと止めに入るわけにもいかず妙に悲しくなつて、泣いていたよ



うに思う。私の小学校低学年の思い出。眞雄兄は西中学校に行っていたのかな、祥雄兄は誠之館高校だったんだらうと思う。眞雄兄を除いて皆誠之館に通っていた。眞雄兄は天理高校に行つたのであまり私はその後、会つて話す機会はなかった。その後、天理大学に入って、ドイツ語を学んでいた。2年終つてスペイン語科に代わつた。2年経つて父親に呼ばれて、卒業後どうする?と尋ねられて、もう2年ありますと言つてずいぶんと叱られていたように記憶している。父親としては、授業料の事もあるし、何の相談もなく学科を代わっていたので、今の言葉で言えば、頭に来たんだらうと思う。
学生時代、福山部内の教会の娘さん

が、天理の会長宅に住み込みで女子青年勤めをしていた。兄は仲良くなつて、父親に結婚したいと言ったのかどうか、学生の身で何を言うかと言う事だったのか、しばらくの間、ずいぶん荒れていたように思う。炊事を担当して下さっていた田辺さんという方から聞きました。

私は高校に行くのに、福山の広大附属にするか、天理高校にするか、兄は天理高校も難しいぞ、と言ってくれたように思う。私は附属中学校を受験してくじ引きで入れなかったので、リベンジの思いがあったので、附属を受験して、何とか入れた。もし天理高校に行っていたら、兄ともいろいろ話せたのかなと思う。兄はこの頃から、アマチュア無線に夢中で自分で短波帯の受信機を作つて2級の無線技士の資格を取つて楽しんでたように思う。東京大学理Iを卒えた祥雄兄は、この頃一足先に1級無線技士を取っていた。ちなみに祥雄はJ A 1 A U Z、澄雄はJ A 1 D O Q、眞雄はJ A 3 B O K、私はJ R 4 O U H。祥雄兄は在学中、砂川闘争に参加して、父親が警察署まで身柄の貰い受けに行った。ために卒業後、数年スバルの会社(富士重工)に就

職し、その後防衛省に技官として入省した。

眞雄兄が渡米したのは、豊明兄の友人が東(あずま)商事会社をニューヨークに設立、1ドルショップを開くという事からであった。昭和36年頃だったと思う。渡米にあつて結婚して行つたほうがよいという事で急遽、加藤勇先生の長女・道江さんと縁談相整い、結婚式は大教会で挙行だった。宴席後、住吉港から屋形船で仙酔島へ行ったように思う。新郎は酒に弱く、宴席で沈没してしまつた。ちなみに私の兄弟9人ですが、奇数は割合酒に強く、偶数はどうもという感じらしい。

(この項続く)

談話室



布教寮を卒業して

「MY JOURNAL」

福富士分教会 藤井成人

昨年、布教の家岡山寮生として1年通らして頂きました。

布教のみをする生活は初めてでした。

ので最初の頃は、毎日にをいがけに歩くことがしんどく感じ、出発前のお願いづとめでは「なんとか今日も1日乗り越えさせて頂きますように! 怒られませぬように!!」とお願ひして、嫌々自転車に乗つて布教先へ向かつていました。

しかし、いざ布教が始まると、近所に響き渡るような声で怒鳴られ、謝りながら逃げるように走つてその場を去つたり、また訪問して怒られた家の間違えてもう1回インターホンを押してしまい、鬼のような形相で塩を投げられたりと様々なお仕込みを頂き、「神様僕のお願ひを聞いていましたか? 僕は褒められて伸びたいので、もうちょっと優しくしてくれ」と神様にお願ひしては、次の日にまた怒られるというような日が続きました。

しかし嫌々でも続けていると、教祖に対してなんともいえない感謝の気持ち湧いてきたり、「こんな私ですが、どうか神様の御用に、おたすけに使つて下さい」という思いにならせて頂きました。

また、一軒一軒頭を下げることで、人に笑われたり、時には怒鳴られたりということを続けるお陰で、自分の高い

心を少しずつ低く低くして下さっている。低くならせて頂いたお陰でおたすけ先をお与え頂き、その方のお世話取りをさせて頂くことで、私のいんねんを少しずつ減らして下さる、「人をたすけて我が身たすかる」という理の流れを身をもって感じさせて頂きました。

ピンポンを押して頭を下げていてだけで、こんなに心を低くさせてもらえて、こんなに有難いと思えるなんて、本当ににをいがけはすごいなあと思います。

他にも、にをいがけに歩くよりもダラダラすることが好きな私が、こうして布教に歩く環境を与えて頂いている、布教に歩かせてもらいたいと思えているのは何でなのか? と考えたときに、自分の頑張りよりもまず、親々が伏せ込み続けてくれてお陰で私の心に神様が働いて下さり、布教に歩くことができたのだと強く感じました。

このように沢山の気付きを与えて頂きましたが、恥ずかしく申し訳ないことに、続けて頑張るといことができません、布教の家の期間中でも自分に負けて、にをいがけや、おたすけに行かな

大教会だより

いという日がありました。少し頑張ったつもりで通っていてもお与え頂かなかつたら、すねて、やめるといような情けない期間もありました。

しかし、最後の最後に自分なりに一生懸命を定めて通らせてもらおうと、不思議なお出会で初席の方をお与え頂きました。

このことから、神様が私に一番仕込みたかったのは「変わらなすにつとめること」だと感じさせてもらいました。

私の場合ですが、気持ちをを入れてにをいがけに取り組むと、通い先との関係が悪くなったり、おちばがえりが決まっていた人に断られたりと、必ず喜べないことを見せて頂いていました。

しかし、力を入れて取り組むからこそ、神様もこちらを成人させてやろうと力を入れて見せて下さる。そこで続けさせてもらうからこそ、お与え頂けるということを感じが付けて頂きました。

本当にたくさんお仕込み頂き、有難い1年だったと思っています。

自分の課題である「続けること」、「諦めないこと」を胸に刻み、これからも布教に歩かせて頂きたいと思ひます。

II 教会指令 II

◎神殿建築願

木津和 分教会

☆鎮座祭 立教188年6月7日

☆奉告祭 立教188年6月8日

立教187年3月26日承認

◎第九一期修養科

自 立教187年1月9日

至 立教187年3月27日

* 教 養 掛(主任、副主任)

一ヶ月目 ⑤ 佐藤 真孝

(大教会准役員・芳井分教会長)

⑥ 掛谷 善成

(福南分教会長)

二ヶ月目 ⑤ 岡崎 治喜

(大教会准役員・弥高山分教会長)

⑥ 丸山 正人

(木津和分教会長)

三ヶ月目 ⑤ 横山 逸郎

(大教会役員・東城分教会長)

⑥ 本多 正悟

* 了者

神 驛 渡邊 響子

(西伯分教会長)

◎教人資格講習会修了者

立教187年4月10日終講

海松ヶ岡 森本 善修

◎春の学生おちばがえり

詰所受入ひのきしん

自 立教187年3月26日

至 立教187年3月27日

・ 東ブロック

吸江 西村 健

吸江 西村 由理子

・ 西ブロック

葦沼 三島 順教

・ 福山ブロック

福山 藤井 靖子

福勇 酒井 實

福勇 酒井 洋子

・ 高屋ブロック

坪生 阿部 通子

・ 島根ブロック

照雲 雑賀 元生

・ 上府ブロック

府中市 坂井 幸生

◎教祖誕生祭・婦人会総会

詰所受入ひのきしん

自 立教187年4月17日

至 立教187年4月19日

大江橋 村川 久美子

大江橋 村川 清治

大江橋 村川 明

大江橋 村川 かな江

大江橋 三宅 友子

甲井 山田 敏教

甲井 山田 信子

甲井 山田 英嗣

訃報

竹本久子さん

福芦分教会三代会長夫人

3月28日出直されました。

享年 95才

中村幸子さん

大教会おつとめ奉仕人

元油木分教会長夫人

4月11日出直されました。

享年 87才

三 月 月 次 祭 祭 文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には 一列人間の陽気ぐらしを楽しみに 御守護お導きを賜り 日々は結構にお連れ通り下さいます事 誠に有難く 勿体ない極みでございます 私共は目に映る草花の姿に 春の訪れを感じつつ 朝夕に御礼申し上げ ご恩報じを思い念じて たすけ一条の御用の上に 努め励まして 頂いております

その中にも 今日の吉日は 此の教会の御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心と たすけ心も 一人に明るく 陽気に 勇んで 坐りづとめて をどりをつとめさせて 頂きます 御前には 今日の日を 楽しみ 寄り集いました 道の子供たちが 相共にお歌を 唱和し 日頃の御高恩に 改めて 御礼申し上げます 尚も 変わらぬ 親心にお継りする 皆の誠実の状を ご覧下さい まして 親神様にも お勇み下さいます よう お願い申し上げます

さて 年祭活動二年目の今年 この二月三月に 部内教会への巡教を 無事つとめさせて 頂きました それぞれ 掲げた 目標に向かつて 教祖にご安心 頂ける よう 精一杯 歩ませて 頂きます

また 年度替わりに 当たり おちばでは 春の学生 おちばが えりが 開催され 笠岡では 鼓笛合同練習 少年会 おつとめ まなび 総会を 開催致します この道につながる 子供達に 親の思いを 伝え 共に 成人の道 を 歩ませて 頂く 所存でございます

何卒 親神様には 親を 信じ 親に 凭れて たすけ 一条に 励む 皆の 誠 真実の心 を お受取り 下さい まして 万たすけの上 に 自由の 御守護 を 賜り お望み 下さる 陽気ぐらし へと 一日も 早く お導き 下さい ます よう 一同 と共に 慎んで お願い 申し上げます

春 季 霊 祭 祭 文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人 八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人 光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人 くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人 朝子刀自 せい子刀自の神霊 歴代会長と共に 道の上に 真実を 尽くされた 役員 部内教会長 教人 よふぼく 信者の 神霊 諸々の 神霊 また 新たにお鎮まり 下さいました 上原真雄大人 武内清明大人 藤井貞女刀自 三嶋正教大人 三代幸大人 森川 美雪刀自 本多一男大人 岡崎政雄大人 諸々の 神霊の 前に 会長上原明勇 慎んで 申し上げます

祖霊様方には 親神様の 世界 いちれつ たすけ たいとの 思召 から 夫々の いんねん を 見定め られて この道に 引き寄せ られ 陽気ぐらし 世界建設の 用材として 息の 限りに たすけ 一条の 御用の上に 勤め 切られました 今日のお道が 結構な姿をお見せ 頂いておりますのは 親神様 教祖のご守護 お導きの 賜物である 事は 申すまでも ありませんが また 一つには 祖霊様方の 真実の 伏せ込みの 賜物と 日々は 朝夕にお礼 申し上げますと共に 祖霊様方にも お喜び 頂きたいと 届かぬがらも たすけ 一条の 御用の上に 努め励まして 頂いております

その中にも 本日は 春の 霊祭を 執り行 行 定めの日柄でございますので 御前に 心づくしの 種々の物 を 供えて 只今はおつとめ 奉仕人一同 親神様の 御前に てて を どりをつとめ させて いただきました 続いて 祖霊様方の 御前に 座を 移し 在りし日 を 偲び 御遺徳を 称え お礼 申し上げます 皆の 真実の姿を ご覧 下さい まして 祖霊様方にも お勇み 下さいます よう お願い 申し上げます

さて 今年には 教祖百四十年祭に向かう 三年千日と 仕切つての 年祭活動二年目の年として 一月には 直轄教会への 大祭参拝 二月三月には 部内教会への 巡教を行い 大教会の方針と 目標 また それぞれの 教会毎に 定めた 目標と 実践項目を 基に 成人の 歩みを進める 事を 申し合せて 頂きました

何卒 祖霊様方には たすけの 旬 成人の 旬と 聞かせて 頂く この 時に 一生懸命に 成人の道 を 歩む 皆の 真実の 状を ご覧 下さい まして 御心安らかに お見守り 下さり お力添えを 下さいます よう 一同 と共に 慎んで お願い 申し上げます

立教百八十七年 三月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり			おつとめ			地方			役割 区分	講話	祭主		扨者	
									前	中	大	上	前	大	谷	中	谷			中島誠治	吉岡誠一郎	大教会長様	虫明立生
今川佐智子	上原順子	佐藤香苗	中村義太郎	中村剛	門脇元教	吉岡壽	山田敏教	今川昌彦	田中ますみ	前奥様	大教会奥様	上原繁道	前会長様	大教会長様	谷内秀自	中村道徳	谷内伸自	坐り勤	中島誠治	大教会長様	吉岡誠一郎	虫明立生	
三島照美	谷内美知子	内海安子	三代温生	内海史郎	上原繁次	赤木素志	岡崎真一	杉原善朗	吉岡八恵	横山小智榮	武内正美	横山逸郎	吉岡誠一郎	中島誠治	浅野明教	森本忠善	佐藤道孝	前半	五月講話	高木昭祥	谷内秀自	指図方	
高木孝子	中村初美	岡崎豊子	上原志郎	中村道徳	岡田誠	高木昭祥	田林久嗣	岡崎治喜	上原千枝子	田中つかさ	門脇加津	虫明立生	上原浩	田中隆之	渡邊隆夫	山野弘実	岡崎真一	後半	少年会育成講習会	高木昭祥	谷内秀自	上原志郎	

立教百八十七年 春季霊祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり			おつとめ			地方			役割 区分	講話	祭主		扨者	
									前	中	大	上	前	大	岡崎	上原	前			大	岡崎	上原	山野
横山小智榮	吉岡八恵	岡崎豊子	吉岡誠一郎	田林久嗣	中村道徳	中島誠治	浅野明教	上原繁次	門脇加津	前奥様	大教会奥様	上原志郎	田中隆之	大教会長様	岡崎治喜	上原浩	前会長様	前半		大教会長様	今川昌彦	横山逸郎	
田中つかさ	上原千枝子	谷内美知子	佐藤哲	福島大介	藤本芳久	矢田哲一	谷本章	藤井正仁	山野悦子	室内悦子	武内正美	高田一弘	渡邊泰造	高木昭祥	中村剛史	仙田公男	山野弘実	後半		渡邊隆夫	杉原善朗	門脇元教	

詰所からのお願い

詰所での宿泊・喫食について

- 詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、2日前までには、必ず詰所へご連絡ください。
- 食事をしない(宿泊のみの)場合でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

部内教会・信者に徹底願います。

門脇元教	杉原善朗	渡邊隆夫
------	------	------



教祖140年祭まで残すところ560日余りとなりましたが、未だ10年程前の教祖130年祭に向けての三年千日活動の旬を忘れることが出来ません。

私には2つ違いの弟がいます。折しも年祭活動1年目の10月、体調を崩し診察したところ癌と診断されステージ4と告知されました。肺とリンパにあったとのことでした。

年も明け、何でもご守護頂きたいと本人、家族はもとより、教会につながる



「ようぼく一斉活動日(第2回)」が6月1日(土)または2日(日)に、全国の会場で開催されます。

開催日時・会場は、教区・支部ごとに下のリンクで予め調べ、お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。

ようぼく一斉活動日

*会場一覧

<https://tenrikyo-regional.net/yoboku-katsudobi/>



る方々にもこの旨を説明、またお願いして4月18日の教祖誕生祭にバス団体を計画し参拝させて頂きました。

以後7年間、団体を無事続けることが出来ました。しかし新型コロナウイルスの感染が世界中に駆け巡る中、バス団体は移動自粛要請の3年間はやむなく中止しました。

弟の病状は検査の数値的には良くなったり、悪くなったりの繰り返しですが、勇んで教会の上にまた仕事も頑張ってくれています。

思い返せば、私が30代で結婚前のことですが、当時勤務していた会社での検診の結果、尿に血が混っているとのことでした。夕方、教会に帰り恐る恐る会長(父)に検査結果を言ううとただ一言「これからおちばへ行こう。ご守護を頂こう」でした。「えっ!これから」と驚きをもったことが、今でも頭の中に残っています。教会長になって思うことは「後からではなく、今すぐ、とに角、おちばに足を運ぶ」ということです。

それを心に留めて、25年が経ちました。(しかしながら物忘れがひどくなったな)と感じるこの頃です (ト)